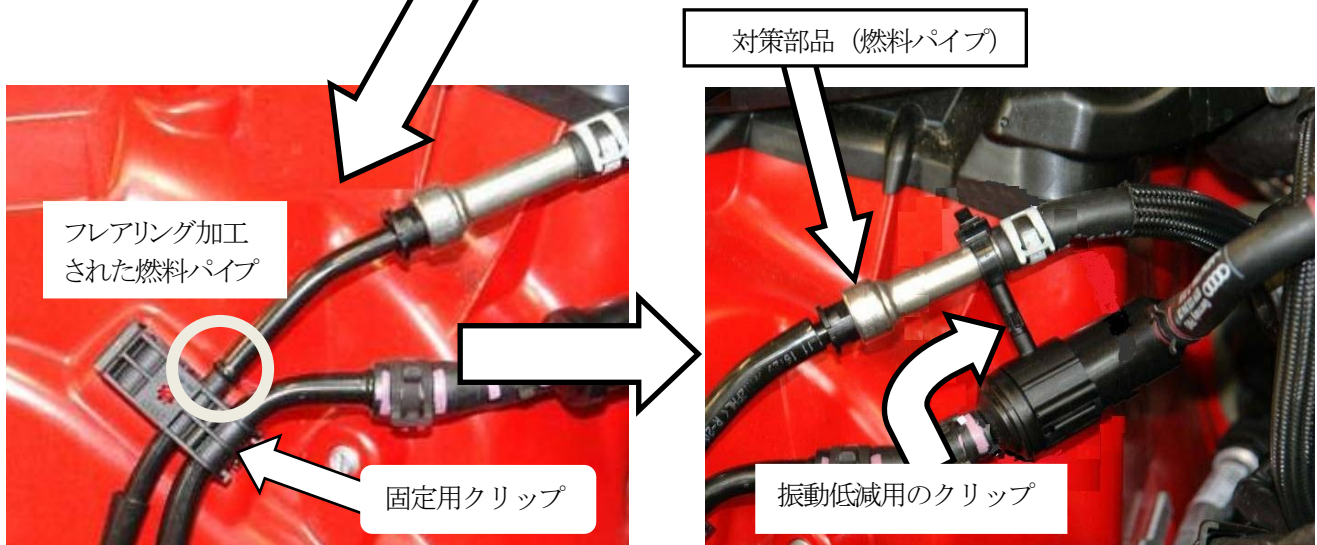


改善箇所説明図



注： は、交換する部品を示す。

基準不適合発生箇所

原動機室内の燃料パイプのフレアリング加工部が、エンジンの固有振動により固定用クリップと接触することで損傷し燃料が漏れるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、フレアリング加工されていない対策部品に交換するとともに、振動低減用のクリップを装着する。

識別：容易に対策部品の装着状態が確認できるため、識別用マークの塗布はしない。

また、点検整備記録簿の該当欄に「日付、走行距離、ワークショップスタンプと担当者名、リコール：外-1969燃料ラインの改修」と記入する。